

## 「関わる」と「係わる」の漢字表記の違いは？

私は、HP等で「人とかかわり合う」と表記する時は、「係わり合う」と「係」の漢字を使用している。

ある元学生から、「『関わる』と『係わる』の漢字表記の違いは？」と聞かれた。そういえば、あまりこの違いを意識したことはなかった。この際にといい、何人かのメル友に助けを求めたところ、早速、メル友から次のような返信（抜粋）をいただいた。

『関』は、もともと「『𠄎（けん・かん）』の字から派生したもの。門構えの中の部分は、𠄎にひもの形を添えたもので、あなにひもを通してつづり合わせること。それに門（左右の扉）の会意兼形声文字で、左右の扉にかんぬきを貫いて、閉めることを示す。突き通すなどと同系の言葉」とあります。

これに対し、『係』は、「ずるずる引くさまと、糸との会意文字。係は、『人+（音符）系』の会意兼形声文字で、ひもでつなぐこと。系の後出の字。継、繫と同系の言葉」とあります。ちなみに、『糸』の旧字体は『絲』で、「糸（べき）を二つ並べた会意文字で、より糸のこと。」となっています。

貫くかかわりが良いのか、よりあわせるかかわりが良いのかは、それを使う人のスタンスでしょうね。

機微のあるかかわり合いを目指す人は、やはり「係わり合い」でしょうか？

ちなみに、学校用語では全て貫く「関わり」です。

人と人とのつながり、人への働きかけというような意味で「係わる」の表現を使っています。漢和辞典だと、「関わる」には何か一方的なニュアンスがありますね。

双方向的なコミュニケーション、寄り添う関係、という意味では、やはり今後も「係わる」を使います。

ただ、行政関係の文書や論文ではほとんど「関わる」の方です。

直ぐにこうしたアドバイスをいただけるメル友とは、正に「『係』わり合い」をさせていただいているということでしょうか。

皆さんは、どちらをお使いですか？